

# 物流 Weekly ウィークリー

毎週月曜日発行

購読料3か月10,500円 振替口座 00950-4-106153  
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2012

物流産業新聞社

ISO9001:2008認証取得 審査登録機関: MIC

<http://www.weekly-net.jp>

発行人 小中 西野 克秀 弥一  
編集人

|      |                     |                  |
|------|---------------------|------------------|
| 東京本社 | 東京都新宿区舟町7(ロクサンビル4F) | ☎03(3226)9371(代) |
| 中部本社 | 名古屋市熱田区尾頭町2-2       | ☎052(680)7188(代) |
| 大阪本社 | 大阪市東住吉区山坂4-15-14    | ☎06(6608)0501(代) |

全国13拠点をネットワーク



大谷會長

**物流不動**　イーソー  
　　のイーソーコグループ  
　　ム(早崎幸太郎社長、  
　　東京都港区)の大谷巖  
　　一會長が3月、「これからは倉庫で設ける!!」  
　　物流不動産ビジネスの  
　　すすめ」を日刊工業新聞  
　　聞社から発刊した。  
　　物流効率化などから  
　　外資系の大型倉庫に押  
　　され気味の倉庫業界だが、  
　　大谷会長は「こう  
　　いう時でも確実に売り  
　　上げを伸ばしている中  
　　小規模の倉庫がある。  
　　そういう会社に共通して  
　　いるのは、あるもの  
　　をあるがままに営業す  
　　るのでなく、『どう  
　　したら自社の仕事をし  
　　て取り込めるか、交換  
　　できるかの意識』の有  
　　無である」と話す。  
　　「一時保管用などで  
　　自社倉庫を持つてい  
　　る運送事業者も多い  
　　が『物流量が減って年  
　　中空きつ放しだが狭く  
　　て活用できない』とい

う話を聞く。それも活用次第だ。日頃からアントナを張り、あそこの倉庫が空いているとか、情報を蓄えておけば荷主からオーダーがあつた時に物流のプロの目で提案できる」大谷氏は荷主からのオーダーを、「どのようになると聞くかもポイントだと話す。「どこに、このくらいの広さの倉庫と言われた時、なぜその場所で、その広さなのか理由と用途を聞く。違う場所、広さでも目的に合う、もつと

イーソードットコム 大谷巖一会長

物流不動産で営業意識高める